

論文剽窃・盗用検知システムの運用方法について

平成 27 年 10 月 7 日教育企画院 決定

博士後期課程学生の論文等に対する論文剽窃・盗用検知システム「iThenticate」(以下「アイセンティケイト」という。)の運用方法については、以下のとおりとする。

- 第 1 博士後期課程学生の学術誌等投稿論文については、当該学生の指導教員が必要に応じてアイセンティケイトによるチェックを行う。(報告の必要はなく、指導に活用するものとする。)
- 第 2 博士後期課程学生の博士論文については、当該学生が別紙「博士論文の剽窃等に係る申告書」を記入する。これを受け、指導教員は必ずアイセンティケイトによるチェックを行い、同紙確認欄に必要事項を記入の上、論文提出期間に学務課に提出する。
- 第 3 博士後期課程学生の前出第 1 及び第 2 以外の論文・レポート・発表資料等については、指導教員が当該学生一人当たりの使用回数以内でチェックを行うことを認める。
- 第 4 前出第 1 から第 3 については、論文博士申請者の論文等についても準用する。(この場合において、本運用方法中「指導教員」とあるのは、「世話教員」と読み替えるものとする。)

附 記

本運用方法は、平成 27 年 10 月 7 日から実施する。